

平成22年度G空間行動プラン関連政府予算案状況（衛星測位関係）

平成22年度（8府省庁 36施策）	政府予算案：20,266 百万円（施策単位で額を確認できるものについて集計。交付金等を除く。）
平成21年度（9府省庁 38施策）	予 算 額：23,062 百万円（施策単位で額を確認できるものについて集計。交付金等を除く。）

※「G空間行動プラン」に掲載された施策をもとに集計。
 ※十百万円の位（少数点第一位）を四捨五入
 ※平成21年度二次補正予算は該当なし

警察庁		平成22年度政府予算案 一百万円			
	一 施 策	施 策 の 概 要	平成21年度 予算額 (百万円)	平成21年度 一次補正予算額 (百万円)	平成22年度 政府予算案 (百万円)
	捜査員の位置情報の把握への衛星測位の活用	捜査員の位置の把握に衛星測位を利用する。	-	826	-
	携帯電話等からの110番通報における位置情報通知システムの整備の推進	衛星測位を用いた携帯電話からの110番通報における位置情報通知システムの整備を推進する。	予算要求名「通信指令施設更新整備及び携帯電話発信地表示システムの導入」(617)の内数	予算要求名「通信指令施設更新整備」(3,050)の内数	-

総務省		平成22年度政府予算案 1,063百万円			
	3 施 策	施 策 の 概 要	平成21年度 予算額 (百万円)	平成21年度 一次補正予算額 (百万円)	平成22年度 政府予算案 (百万円)
	技術試験衛星Ⅷ型による衛星測位技術の実験	衛星測位のための衛星地上間時刻比較実験を実施	運営費交付金の内数	-	運営費交付金の内数
	準天頂衛星システムの研究開発	高精度な衛星測位を実現可能とする準天頂衛星システムの研究開発を実施する。	1,529	-	1,063
	携帯電話からの119番通報における発信位置情報通知システムの導入促進	携帯電話からの119番通報に係り、衛星測位を活用して発信位置を特定するシステムについて、各消防本部での導入促進等を図る。	(起債事業、補助金)	1,575	(起債事業、補助金)

外務省		平成22年度政府予算案 0百万円			
	1 施 策	施 策 の 概 要	平成21年度 予算額 (百万円)	平成21年度 一次補正予算額 (百万円)	平成22年度 政府予算案 (百万円)
	日米GPS会合	1998年の日米首脳声明に従い定期的に開催されるGPSの利用に関する重要事項を検討・討議するための会合を開催する	1	-	0

法務省		平成22年度政府予算案 一百万円			
	1 施 策	施 策 の 概 要	平成21年度 予算額 (百万円)	平成21年度 一次補正予算額 (百万円)	平成22年度 政府予算案 (百万円)
	登記所備付地図作成	登記所備付地図作成に衛星測位を利用する。	1,412 の内数	-	1,823 の内数

文部科学省		平成22年度政府予算案 10,805百万円			
	9 施 策	施 策 の 概 要	平成21年度 予算額 (百万円)	平成21年度 一次補正予算額 (百万円)	平成22年度 政府予算案 (百万円)

屋内外シームレス測位環境の構築のための環境整備	衛星測位システム受信機をそのまま屋内測位にも利用可能とするIMES (Indoor Messaging System) を活用した屋外～屋内を問わないシームレス測位環境の構築に寄与するため、当該技術の利用拡大のための普及啓発を行う。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(139,703)の内数	—	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(130,392)の内数
技術試験衛星VIII型(ETS-VIII)による衛星測位技術の実証実験	大型展開アンテナ技術や移動体通信技術の獲得等を目的とした技術試験衛星VIII型(ETS-VIII)を用いて、衛星測位に関する基礎的な技術を蓄積するための実験を実施する。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(139,703)の内数	—	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(130,392)の内数
高精度運航技術(GPSを利用した航空機の高精度航法システムに関する研究)	次世代運航システムの技術開発を行う。その中で、GPS受信端末と機上慣性航法装置とを複合した航空機用の超小型航法装置(位置センサ)及びそれを利用した高精度・高信頼航法システムの研究開発を推進する	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(139,703)の内数	—	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(130,392)の内数
準天頂高精度測位実験技術の研究開発等	準天頂衛星システム計画に関し、準天頂高精度測位実験技術の研究開発を実施する。	9,300	6,800	8,114
		※宇宙航空研究開発機構運営費交付金の推計値及び施設整備費補助金における関連経費の合計	※宇宙航空研究開発機構運営費交付金の推計値及び施設整備費補助金、宇宙利用促進調整委託費における関連経費の合計	※宇宙航空研究開発機構運営費交付金の推計値及び施設整備費補助金における関連経費の合計
準天頂衛星システムユーザーインターフェース仕様書の公開等	準天頂衛星システム(QZSS)に対応するユーザ受信端末(カーナビ、携帯電話等)やユーザアプリケーションの開発に必要なQZSSと利用者間のインターフェース、要求されるサービス性能の仕様などをユーザに対して提供する「準天頂衛星システムユーザーインターフェース仕様書」を作成、公開する。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(139,703)の内数	—	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(130,392)の内数
追跡ネットワーク維持(衛星測位を利用した人工衛星等の高精度軌道決定等)	ロケット・衛星を追跡管制するための追跡ネットワークを維持する。その中で、衛星測位等を利用して周回衛星等の軌道を高精度で決定するとともに、その精度の向上を図る研究を実施する。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(139,703)の内数	—	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金(130,392)の内数
活断層調査の総合的推進(宇宙利用に関連する予算以外の額を含む)	強い揺れに見舞われる可能性が高い活断層や、地震が発生した場合に社会的影響が大きい活断層等において、GPS観測やALOSを用いた地殻変動分布把握等の調査観測・研究を実施する。	660	—	588
観測データ集中化の促進のうち、GPSの維持管理	重点的に調査観測を行う活断層周辺に存在するGPSを維持管理する。	23	—	—
地震・津波観測監視システム(宇宙利用に関連する予算以外の額を含む)	海溝型巨大地震・津波対応ネットワークシステムの構築に向けた世界最先端の技術開発を推進する中で、GPSと音響測距技術を組み合わせた海底地殻変動観測システムとの接続及び観測技術開発を推進する。	1,274	—	1,510
ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究(宇宙利用に関連する予算以外の額を含む)	近年、頻繁に地震が発生している日本海東縁部等の「ひずみ集中帯」において、当該地域で発生する地震のメカニズムの解明等を目的として、GPS連続観測による精密ひずみ観測等の調査観測・研究を実施する。	596	—	594

農林水産省 10施策 平成22年度政府予算案 一百万円

施策名	施策の概要	平成21年度 予算額 (百万円)	平成21年度 一次補正予算額 (百万円)	平成22年度 政府予算案 (百万円)
-----	-------	------------------------	----------------------------	--------------------------

漁船位置情報管理・分析	漁船の位置等を衛星測位システムを介して自動的に取得するシステム（VMS）を構築・運用する。	49	—	遠洋漁業管理推進委託事業（218）の内数
海亀等の回遊経路の把握	対象海洋生物の回遊経路を把握するため、海亀等の生体を捕獲後タグを装着し、行動を追跡する。	国際資源対策推進事業（339）の内数	—	国際資源対策推進事業（339）の内数
有害生物被害防止対策	有害生物の出現状況の把握と情報提供の実施に際し、調査船等により得た出現・予測情報を、日々の更新データ提供（PDF）と併せてGISによる提供を行い、情報利用者の利便性の高い情報として漁業関係者等に提供する。	有害生物漁業被害防止総合対策事業費（890）の内数	—	有害生物漁業被害防止総合対策事業費（1,912）の内数
水稲移植作業及び収穫作業の自動化による超省力作業システムの開発	ほ場内にオペレータが入ることなく、水稲作の耕うんから収穫まで、すべてのほ場作業をロボット化する無人機械作業体系を開発する。	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（39,166）の内数	—	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（37,705）の内数
農地・農村の防災技術の高度化	高精度GPSと無人ヘリ等を用いた中山間農村地帯における災害の調査・監視技術等の開発する。農地地すべり監視のためのGPS測位技術の利用とその高精度化を進める。	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（39,166）の内数	—	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（37,705）の内数
広域収量モニタリングシステムの開発	コンバイン収穫質量測定装置（収量センサ、GPSユニット、表示・記録装置から構成されるもの）を利用し、ほ場地図上に収量情報をマッピングできる広域収量モニタリングシステムを開発する。	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（39,166）の内数	—	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（37,705）の内数
普及型GPSを用いた茶園内の位置計測技術の開発	茶園内の害虫被害箇所を検出するため、安価な普及型GPSを用いた茶園内の位置を計測する技術を開発する。	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（39,166）の内数	—	—
運動強度等の簡易測定に基づく放牧育成牛への補助飼料給与量の調整技術の開発	衛星測位及びGISの利用により、放牧牛の運動量と牧区地形条件の関係を解析する。	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（39,166）の内数	—	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（37,705）の内数
農業環境資源地点情報の整備	土壌調査、植生調査、昆虫採取及び土壌微生物等の衛星測位等による採取地点情報の整備を行い、データベース化し、時空間情報として視覚化する手法を開発する。	農業環境技術研究所運営費交付金（3,155）の内数	—	農業環境技術研究所運営費交付金（3,066）の内数
衛星測位・無線通信技術を用いた農地への野生生物追跡技術の開発	鳥獣害予防のために、無線通信技術を用いた野生生物の接近警報及びGPSによる精密な位置情報の取得を行う。	農業環境技術研究所運営費交付金（3,155）の内数	—	農業環境技術研究所運営費交付金（3,066）の内数
広域コントラクターのための形態端末を利用した作業計画・管理支援システム	飼料イネの収穫・調整・集荷作業や堆肥散布など各作業を円滑に進めるため、GPS搭載携帯情報端末を利用した、記録すべき項目を自由に設定できる、広域コントラクター向け作業計画・管理支援システムを開発する。	—	—	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金（農業技術研究業務助定）（37,705）の内数

経済産業省 5施策 平成22年度政府予算案 7,238百万円

施策名	施策の概要	平成21年度 予算額 （百万円）	平成21年度 一次補正予算額 （百万円）	平成22年度 政府予算案 （百万円）
ASTERセンサ・PALSARセンサによる資源探査	資源開発等に活用するための衛星搭載用光学センサ、ASTERと衛星搭載用レーダセンサ、PALSARの開発・運用を行う。また、ASTER及びPALSAR等から得られた地球観測データから石油・天然ガスといったエネルギー資源が埋蔵している可能性の高い地域を特定するための処理・解析技術の研究開発等を行う。	1,577	—	1,288

次世代衛星基盤技術開発プロジェクト（準天頂衛星プロジェクト）	次世代の衛星技術として期待されている準天頂衛星システムを構築するとともに我が国衛星メーカーの国際競争力強化を図るために必要な基盤技術（産業競争力強化に直結する衛星の軽量化、長寿命化に関する技術等）を開発する。	855	—	401
先進的宇宙システムの研究開発	我が国の宇宙システムの見直しや国際競争力強化、国内宇宙産業基盤維持を図るために、衛星システムの低コスト化・短納期化等を実現するための、標準化、自動運用化等の研究開発を行う。	1,637	—	2,246
次世代地球観測センサ等の研究開発	資源開発能力を格段に向上した衛星搭載用光学センサであるハイパースペクトルセンサの開発を行う。また、地球観測データの利用の拡大を図るため、利用ニーズに即した情報を地球観測データから抽出するための処理・解析アルゴリズムの開発や、それらデータの処理解析技術の研究開発を行う。	2,996	—	2,400
エネルギーITS推進事業	省エネルギー・温暖化対策の効果が高いITSの実用化を促進し、運輸部門のエネルギー・環境対策を進めるため、自動運転・隊列走行の研究開発等を行い、その中でGPSを用いた高度な位置測定、画像認識を用いた周辺環境認識等の要素技術の開発等を行う。	1,085	—	904

国土交通省 6施策 平成22年度政府予算案 1,159百万円

施策名	施策の概要	平成21年度 予算額 (百万円)	平成21年度 一次補正予算額 (百万円)	平成22年度 政府予算案 (百万円)
海上保安庁における緊急通報118番(位置情報等)の受付体制	緊急通報118番(位置情報等)の受付体制の運用において衛星測位を利用する。	2	—	2
人工衛星軌道観測	国際GNSS(Global Navigation Satellite Systems)事業等が実施する国際測地観測等への参加を行う。	電子基準点測量経費の内数	—	電子基準点測量経費の内数
電子基準点測量	GPSを用いた測量の効率の向上等のため、全国に配置した電子基準点によるGPS連続観測システムを運用する。	926	1,284	731
初号機の準天頂衛星による技術実証・利用実証等	準天頂軌道の衛星システム計画に関し、所要の研究開発を実施するとともに、1機の準天頂衛星を打ち上げ、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省による技術実証、民間、府省等による利用実証を行う。	385	—	385
衛星測位を利用した海上交通の安全確保	船舶交通の安全確保のため、全国に配置したディファレンシャルGPS局からGPSの補強情報を提供する。	167	—	40 及び航路標識整備事業費の内数
衛星測位を利用した航空交通の安全確保及びサービスの向上	航空交通の安全確保及び効率性向上のため、運輸多目的衛星(MTSAT)を用いた衛星航法補強システムを運用し、国際民間航空機関(ICAO)の基準に準拠したGPS補強情報を提供する。	空港等維持運営費(航空衛星センター、1,516)及び航路整備事業費(衛星センター性能向上、2,869)の内数	—	空港等維持運営費(航空衛星センター、1,371)の内数

防衛省 1施策 平成22年度政府予算案 一百万円

施策名	施策の概要	平成21年度 予算額 (百万円)	平成21年度 一次補正予算額 (百万円)	平成22年度 政府予算案 (百万円)
自衛隊による衛星測位の利用	航空機、艦船等の航法等に衛星測位を利用する。	航空機購入費(69,081)、艦艇建造費等(191,727)の内数	—	航空機購入費(70,901)、艦艇建造費等(176,218)の内数

